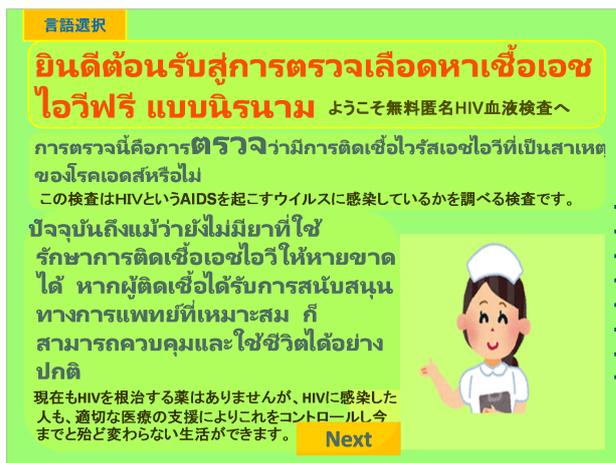


エイズ検査の多言語支援ソフト（試作品）

提供のお知らせ

厚生労働科学研究費エイズ対策研究事業「外国人におけるエイズ予防指針の実効性を高めるための方策に関する研究班」では、2015年度にHIV抗体検査を受検する外国人のための説明補助資料（ソフトウェア）を作成しました。

陽性告知には訓練された通訳の利用が推奨されますが、現実には言葉の不自由な外国人の受検者に対して十分な通訳の同伴が得られずに検査前の説明を実施せざるを得ないことも多いかと思えます。このソフトは、全部で34ページで構成されており、HIV抗体検査をその手順に従って5カ国語（英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語）で説明する内容となっています。

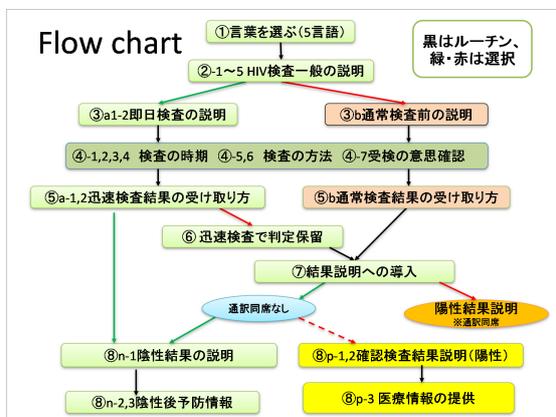


使用はタブレット端末にインストールし、検査の待ち時間に受検者に渡したり、保健師が指さしながら説明することで受検査の理解を促進します。

本年11月から開始された下記の研究班の事業として、試用して下さる保健所・検査施設を募集しております。改善のためのご意見を頂いた上で実用化を目指しております。

端末にインストールし、すぐに使える状態で提供できますので、実物を見てみたい関係者の方は是非ご連絡下さい。使用しやすくするための改善点などのコメントを頂けるご施設であれば、外国人の検査件数が少数でもご利用頂けます。

↑ タイ語の SAMPLE



↑ 迅速検査・通常検査ともに対応

連絡先：沢田貴志

港町診療所（横浜市神奈川区金港町7-6）

045-453-3673 tswd@nifty.com

外国人に対するHIV検査と医療サービスへのアクセス向上に関する研究班分担研究者